

きずな



2015年 2月19日

NO 1015

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (Tel. 62-6200)

12日に第4回 井原市国民健康保険運営協議会が開催され、この中で、来年度の国保税率が据え置かれることが明らかになりました。13日には瀧本市長から諮問されていた、井原市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）案について、井原市保健福祉計画策定委員会が答申を行い、この中で、来年度見直される介護保険料基準月額を、「5,400円が適当である。」と判断したと答申されました。



来年度の 国保税率据え置き

12日午後3時30分から「第4回 井原市国民健康保険運営協議会」（国保運協）が開催（写真）されました。

協議事項は、（1）平成26年度井原市国民健康保険事業特別会計【保険事業勘定】補正予算（案）について （2）平成27年度井原市国民健康保険事業特別会計【保険事業勘定】予算（案）について （3）平成27年度井原市国民健康保険事業特別会計【直営診療所事業勘定】予算（案）についての3件でした。それぞれについて担当者が説明。説明後、委員から出された質問に対して答えをしていました。最後に3案について会長が意向を諮り

3案とも全会一致で承認しました。

平成27年度井原市国民健康保険事業特別会計【保険事業勘定】予算（案）についての説明中、国民健康保険税の状況の項で「平成27年度の国保財政も、前年度までの状況から厳しいものになると予想され、単年度では収支不足が生じるため、借入金を計上し、これに対応することになっている。しかし、現時点では不確定要素も多く、今後の医療費の伸びの動向によっては、収支の均衡が図れる可能性もある。したがって、平成27年度においても引き続き、医療費の抑制に引き続き努めることにより収支不足の低減を図り、保険税率は据え置くこととしている。」と説明。平成27年度は国保税率を据え置くことが明らかにされました。

介護保険料基準月額を 600円引き上げ答申

文市長から諮問を受けていた「井原市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）案」について、諮問後4回の審議を経て答申を行いました。

同委員会の正副委員長が市長を訪ね、河合恭廣委員長（井原医師会長）が下記3項目の意見を読み上げ、瀧本市長に「答申書」を手渡（写真）しました。3項目の意見は次の通りです。

1. いわゆる団塊世代が後期高齢者となり、高齢化が一段と進む平成37年を見据え、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができるよう「地域包括ケアシステム」構築の推進を図るとともに、健康寿命の延伸を目指したまちづくりの実現に努められたい。
2. 介護保険にあっては、適正な事業運営により制度の持続可能性を高め、利用者にとって真に必要なサービスが提供できるよう、量的確保とサービスの質の向上に努められたい。
3. 介護保険料の設定にあたっては、給付と負担のバランスに考慮するとともに、制度の安定性と持続可能性の観点から適切に設定するべきと考える。介護給付費準備基金の活用については、「被保険者の負担の軽減を図るため活用は必要であるが、一定額の基金は確保しておくべき」との意見により、介護保険料基準月額は、「5,400円が適当である。」と判断した。

この内容は答申を受けた時点のもので、保険料については、井原市介護保険条例の改正案を2月市議会定例会へ上程することになります。（介護保険課）

ちなみに、現在（平成24年から26年度）の介護保険料基準月額は4,800円で、答申通りになれば、新年度から600円の引き上げになります。



2015年2月16日(月)

野中氏、首相を叱る

沖縄の痛み分からぬ政治に憤慨 戦争は絶対にやってはならない

TBS番組

野中広務・元自民党幹事長は15日放送のTBS番組「時事放談」に出演し、安倍晋三首相の政治姿勢を厳しく批判しました。

首相の施政方針演説について野中氏は、「私が中学生のころ、昭和16年に東条英機首相が大政翼賛会の国会演説のラジオ放送を耳にしたときの感じと変わらない」、「重要な部分に触れないで、非常に勇ましい感じで発言された」と述べました。

沖縄県・辺野古への米軍新基地建設を民意に背いて強行する姿勢については、「沖縄を差別しないために政治生命を懸けてきた一人として、絶対に許すことができない」と強調。「私にとっては、本当に悔しい。死んでも死にきれない」と述べ、「県民の痛みが分からない政治だと思い、強く憤慨している」と批判しました。



野中氏は、ODA（政府開発援助）に関する新たな「大綱」について、「非軍事的援助といいながらも、それが先方で軍事的に使われていても何も言えない」「これからの平和につながっていかない」と指摘しました。

また、来年度予算案について「防衛費だけが増えていく、そういう国づくりが本当にいいのか」と疑問を投げかけ、「一番大切な中国の問題、韓国の問題を正面から捉えようという意欲がないのではないか」と指摘しました。

最後に、「私は戦争を経験した生き残りの一人だ」と述べ、「どうか現役の政治家に“戦争は愚かなものだ”“絶対やってはならない”ということを知ってほしい」と訴えました。

※しんぶん赤旗日刊紙2月16日の記事より

井原市政に対するご意見・ご要望をお寄せください

井原市議会2月定例会の開会予定日は2月27日(金)です。皆様の井原市政に対するご意見・ご要望をお近くの党員か下記の電話・FAXにお気軽にお寄せください。皆様のご意見・ご要望が1つでも多く実現するよう、引き続き奮闘したいと考えています。

日本共産党市議事務所 TEL 62-6200 FAX 62-6209
森本ふみお宅 TEL 62-6061 FAX 62-6081

この「きずな」は森本ふみお議員のブログ (<http://m.okajcp.com>) でも見れます

生活に役立ち勇気と確信のわくしんぶん[赤旗]をお読みください(月額日刊紙3,497円 日曜版823円)